

氏名	山本 英子	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	母性看護学・助産学				
学位	修士(保健学)				
学歴	2006年群馬大学大学院医学系研究科博士前期課程				
経歴	2006年埼玉県立大学保健医療福祉学部助手、07年埼玉県立大学保健医療福祉学部助教、14年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、18年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会(役職)	日本看護科学学会、日本助産学会、日本母性看護学会、日本母性衛生学会、日本思春期学会、日本新生児看護学会、日本小児保健協会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、千葉看護学会				

### 【2018年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	2019年版 系統別看護師国家試験問題集(第107回看護師国家試験 解答と解説)	共著	医学書院	石井邦子,川村紀子, <b>山本英子</b> , 他53名	2018.4
(2) 論文					
1	分娩介助実習前の学生の気づきを促すための模擬産婦に対するフィードバック研修の試み	共著	保健医療福祉科学, 8, 75-82	森美紀,鈴木幸子, <b>山本英子</b> ,他6名	2019.3
(3) 学会発表					
1	分娩介助演習における模擬産婦による双方向性フィードバックが学生の気づきを促す効果	共著	第20回日本母性看護学 学会学術集会, 越谷市	○森美紀,鈴木幸子, 石井邦子, <b>山本英子</b> , 他5名	2018.6
2	妻が里帰り出産をした夫の妊娠期から産褥期における妻やわが子への思い	共著	第20回日本母性看護学 学会学術集会, 越谷市	○山口実優, <b>山本英子</b>	2018.6
3	妊産婦のソーシャルサポートを高める看護	共著	第20回日本母性看護学 学会学術集会, 越谷市	○亀谷日菜子, <b>山本英子</b>	2018.6
(4) その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	運動行動変容ステージを基盤とした妊婦の身体活動を促進する看護介入の開発(研究代表者)			2018.4~2021.3
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	母性看護学Ⅱ	2018.11	女性のライフサイクル各期における身体活動の課題と支援について、具体的な方法例をあげて説明した。		
2	母性看護学Ⅲ	2018.11	視聴覚教材等を用いて、分娩期にある対象者(母子・家族)のイメージ化や理解が深まるように講義を行った。また、講義と演習、実習の連続性を意識した授業構成とした。		
3	周産期のケア	2018.10.	日本や世界の子育て支援の現状、ガイドラインや研究結果だけでなく、臨床での実際等も含めて講義を行った。		
4	分娩期のケア	2018.4~2018.8	助産師としてのキャリアデザインを意識し、診断・ケア技術能力が向上するよう講義を行った。また、ガイドラインや研究結果、臨床での実際の説明も含め講義を行った。自己学習用に作成したe-learning教材を活用した。		
(2) 演習					
1	母性看護学Ⅲ	2018.11~2018.12	演習内容を自己学習で深められるよう、リアリティを考慮した物品の工夫や、視聴覚教材の作成・活用を行った。		

2	周産期のケア	2018.10.	学生が模擬妊婦となり、妊娠期の運動を実際に体験することで、具体的な運動内容・運動強度・留意点、運動による快感情等の理解を促せるよう、支援した。
3	分娩期のケア	2018.4～2018.8	診断・ケア技術、コミュニケーション、チームワーク、自己評価の能力が向上するよう演習を行った。実習室の開放、指導担当教員の配置、自己学習用のDVD作成を行い、自己練習・学習の環境を整えた。
<b>(3)実習</b>			
1	母性看護学実習	2018.5～2018.6	3年次生を対象に、産科病棟を使用して、実習指導を行った。産褥期・新生児期の変化、母乳育児支援、母子相互作用、退院後の生活について、とくに理解が深まるよう支援した。
2	総合実習	2018.7	4年次生の助産系学生を対象に、産科外来・病棟を使用して、4名の実習指導を行った。妊娠期から産褥期の継続性を意識し、個別性の高い看護が提供できるよう支援した。
3	助産学実習Ⅱ	2018.8～2018.11	4年次生の助産系学生を対象に、産科病棟を使用して、3名の実習指導を行った。入院の判断から分娩介助まで実施し、継続性と個別性の視点をもてるよう支援した。また、NICU実習全般について、調整を行った。
4	IPW実習	2018.10.	4年次生6名(埼玉医科大学学生1名含)の施設担当・教員ファシリテータとして、学生が積極的な参加、活発な討議および効果的なリフレクションができるよう関わった。
<b>(4)論文指導</b>			
1	卒業研究	2018.3～2019.1	学部生3名の研究指導を行った。
<b>(5)その他</b>			
1	該当なし		
<b>4. 社会貢献活動</b>			
<b>(1)講演会、研修会等の講師</b>			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
	開催年月		
1	ベビーマッサージ	越谷市児童館 ヒマワリ	ベビーマッサージ&エクササイズ ～親子で楽しくスキンシップ～
	2018.10.		
<b>(2)国、自治体、財団法人等における委員等</b>			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	第20回日本母性看護学会学術集会	学術集会運営委員(広報・渉外担当)	2017.3～2018.7
2	越谷市男女共同参画推進委員会	副会長	2017.7～
3	埼玉県立春日部女子高等学校	学校評議員	2018.4～
4	一般社団法人 日本母性看護学会	選挙管理委員	2019.2～
5	第20回日本母性看護学会学術集会	学術集会査読担当	
<b>(3)ジャーナリズムでの発言</b>			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
<b>5. 学内運営(委員会委員)</b>			
1	学科 総合実習科目担当		
<b>6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)</b>			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
<b>7. 特許の保有状況</b>			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
<b>8. 特記事項</b>			
	該当なし		